

長野県人材育成ニーズ調査

(工科短期大学校、技術専門校ヒアリング調査分)

集計結果

平成 2 7 年 1 2 月

長 野 県

第1章 調査の概要

1 調査の目的

長野県人材育成ニーズ調査（企業ニーズ調査）と同様

2 調査方式

標本調査

3 調査の範囲

(1) 調査範囲

県内全域

(2) 調査対象

工科短期大学校・技術専門校の卒業生・修了生を過去に採用した、もしくは校に求人を出している事業所。

該当する事業所から一訓練科5社程度を有意抽出

(3) 回答数

93社

4 主な調査項目

長野県人材育成ニーズ調査（企業ニーズ調査）と同様
アンケート回答項目に関する詳細な内容をヒアリング

5 調査の実施期間

平成27年8月1日（月）～8月17日（月）

6 調査の方法

直接訪問によるヒアリング調査

7 集計方法

本報告書においては「長野県人材育成ニーズ調査（企業ニーズ調査）」を「委託調査」、本調査を「工短技専調査」と呼称するものとする。表及びグラフ中の「委託」は委託調査を、「工短技専」は本調査を示す。

また、委託調査と同様のアンケート用紙により調査を行っているが、すべての項目ではなく工科短期大学校・技術専門校に関する項目のみまとめている。

構成比の合計は、四捨五入の結果100.0にならない場合がある。また、複数回答の場合は、100.0を超える場合がある。

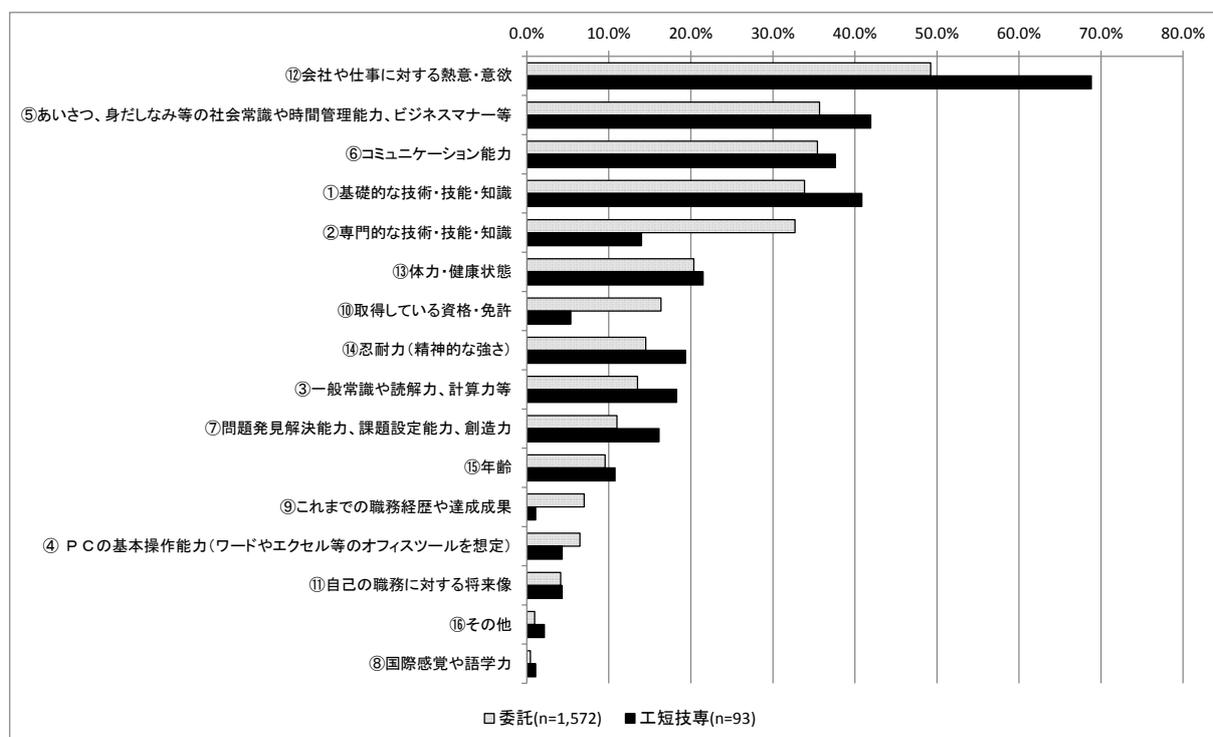
第2章 調査の結果

3 採用時に、技術系・技能系社員に求めるもの

問6 技術系・技能系社員の採用にあたり、重視することは何ですか。該当する項目を3つまで選び○印を記入してください。

区分		合計	①基礎的な技術・知識	②専門的な技術・知識	③一般常識や読解力、計算力等	④PCの基本操作能力(ワードやエクセル等のオフィスツールを想定)	⑤あいさつ、身だしなみ等の社会常識や時間管理能力、ビジネスマナー等	⑥コミュニケーション能力	⑦問題発見解決能力、課題設定能力、創造力	⑧国際感覚や語学力	⑨これまでの職務経歴や達成成果	⑩取得している資格・免許	⑪自己の職務に対する将来像	⑫会社や仕事に対する熱意・意欲	⑬体力・健康状態	⑭忍耐力(精神的な強さ)	⑮年齢	⑯その他
			委託	回答数 割合	1,572 -	532 33.8%	514 32.7%	212 13.5%	102 6.5%	561 35.7%	557 35.4%	173 11.0%	7 0.4%	110 7.0%	257 16.3%	65 4.1%	774 49.2%	320 20.4%
工短技専	回答数 割合	93 -	38 40.9%	13 14.0%	17 18.3%	4 4.3%	39 41.9%	35 37.6%	15 16.1%	1 1.1%	1 1.1%	5 5.4%	4 4.3%	64 68.8%	20 21.5%	18 19.4%	10 10.8%	2 2.2%

「会社や仕事に対する熱意・意欲」が最も高く、委託調査よりも約20ポイント高い。二位から四位までの項目については委託調査と同じように高いが、「専門的な技術・技能・知識」については委託調査の半分以下。



【ヒアリング内容より】

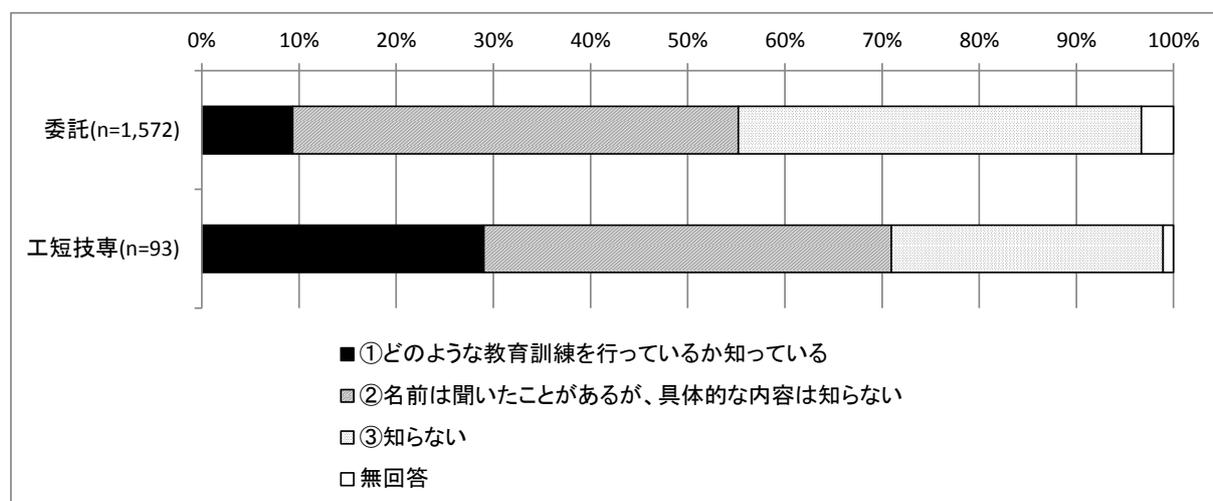
- ・「やる気」「熱意」等を挙げる企業が多い。「この仕事が好きか(上小・製造業)」「何でもいから頑張ったことがあるか(上小・製造業)」などの具体例が挙げられた。
- ・基礎的内容については「一般常識」「基礎数学(高校レベル)」「道具機械等の名称」「製図」等が挙げられた。
- ・専門的な内容については「入社後の修得で十分(長野・印刷業)」「技能・技術は入ってからでよい(諏訪・製造業)」とする企業も複数あり、「必要な時に勉強して学べる素養(上小・製造業)」との回答もあった。
- ・資格については、「第一種、第二種電気工事士(建設業)」「技能講習・特別教育(建設業・製造業)」等が具体的にあげられる一方、「資格は重視していない。資格取得に向けての取り組みは評価する(木曾・製造業)」と回答する企業もあった。
- ・その他の項目としては、「成功体験(長野・製造業)」「目的意識(松本・建設業)」等が挙げられた。

1 長野県工科短期大学校について

問 14 上田市にある長野県工科短期大学校（以下「工科短大」といいます）をご存知ですか。該当する項目1つに○印を記入してください。

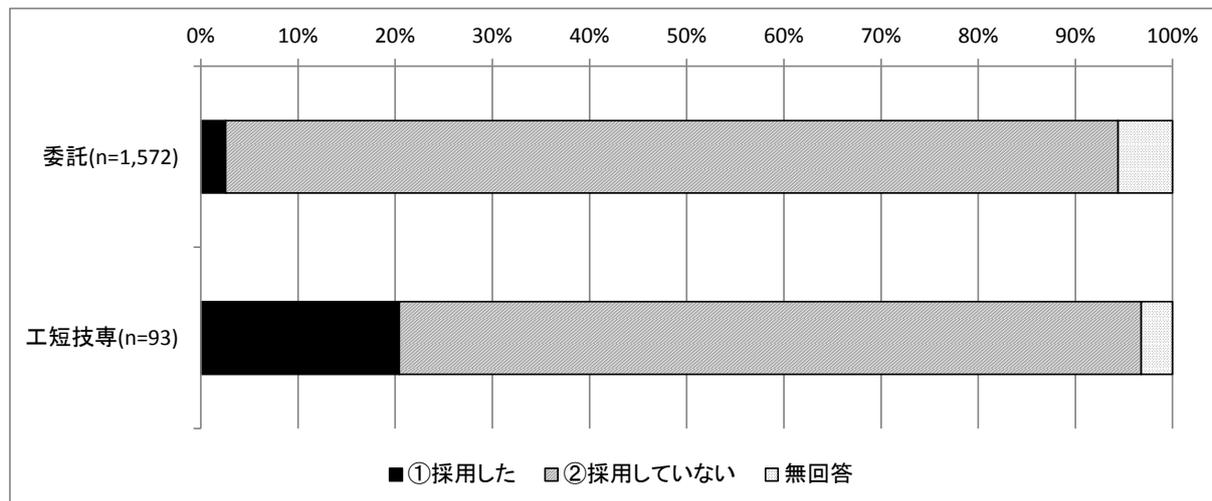
区分		合計	①どのような教育訓練を行っているか知っている	②名前は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない	③知らない	無回答
委託	回答数	1,572	147	721	652	52
	割合	-	9.4%	45.9%	41.5%	3.3%
工短技専	回答数	93	27	39	26	1
	割合	-	29.0%	41.9%	28.0%	1.1%

委託調査よりも知名度は高く、「どのような教育訓練を行っているか知っている」が約 20 ポイント高くなっているが、「知らない」も同程度ある。



問 15（1）過去3年間で、工科短大の卒業生を採用したことがありますか。該当する項目1つに○印を記入してください。

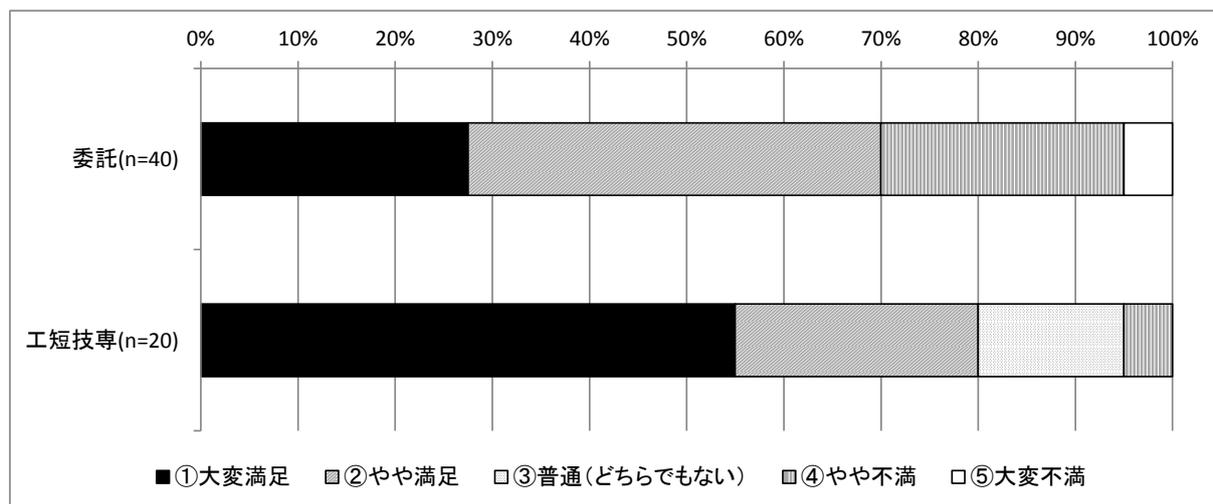
区分		合計	①採用した	②採用していない	無回答
委託	回答数	1,572	40	1,444	88
	割合	-	2.5%	91.9%	5.6%
工短技専	回答数	93	19	71	3
	割合	-	20.4%	76.3%	3.2%



(2) 「①採用した」と回答された方にお聞きします。採用した工科短大の卒業生に対する満足度はどのくらいですか。該当する項目1つに○印を記入してください。

区分		合計	①大変満足	②やや満足	③普通(どちらでもない)	④やや不満	⑤大変不満
委託	回答数	40	11	17	0	10	2
	割合	-	27.5%	42.5%	0.0%	25.0%	5.0%
工短技専	回答数	20	11	5	3	1	0
	割合	-	55.0%	25.0%	15.0%	5.0%	0.0%

「大変満足」が5割を超え最も多くなっており、委託調査よりも満足度は高い。



(3) 「①採用した」と回答された方にお聞きします。卒業生について評価できることは何ですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

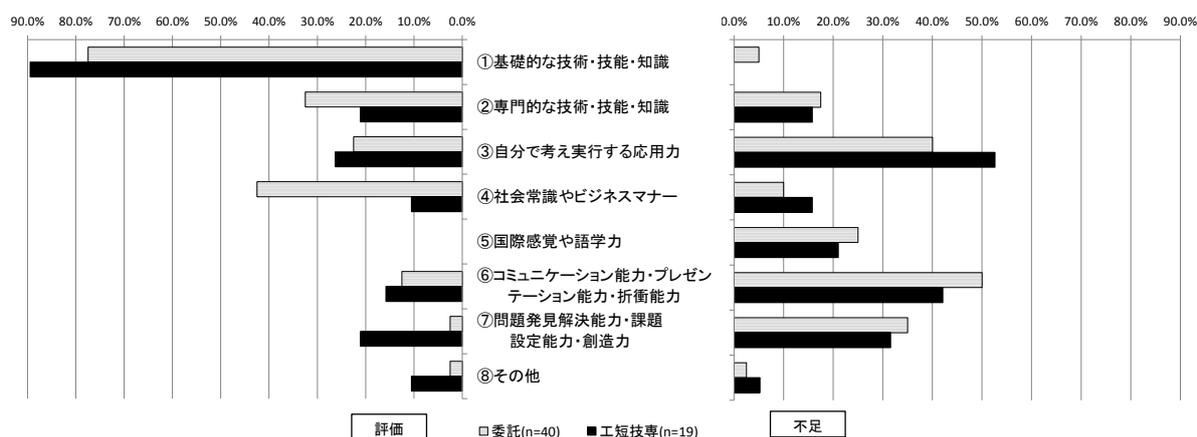
(4) 「①採用した」と回答された方にお聞きします。卒業生に不足していると思われることは何ですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

区分		合計	①基礎的な技術・技能・知識	②専門的な技術・技能・知識	③自分で考え実行する応用力	④社会常識やビジネスマナー	⑤国際感覚や語学力	⑥コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・折衝能力	⑦問題発見解決能力・課題設定能力・創造力	⑧その他
評価	委託	回答数	40	31	13	9	17	0	5	1
	割合	-	-	77.5%	32.5%	22.5%	42.5%	0.0%	12.5%	2.5%
工短技専	回答数	19	17	4	5	2	0	3	4	2
	割合	-	-	89.5%	21.1%	26.3%	10.5%	0.0%	15.8%	21.1%
不足	委託	回答数	40	2	7	16	4	10	20	14
	割合	-	-	5.0%	17.5%	40.0%	10.0%	25.0%	50.0%	35.0%
工短技専	回答数	19	0	3	10	3	4	8	6	1
	割合	-	-	0.0%	15.8%	52.6%	15.8%	21.1%	42.1%	31.6%

「基本的な技術・技能・知識」を評価している割合が10ポイント以上増えている。

「自分で考え実行する応用力」は評価、不足ともに割合が増えている。特に「不足」について10ポイント以上多く約半分に達している

「社会常識やビジネスマナー」の評価が30ポイント以上少ない

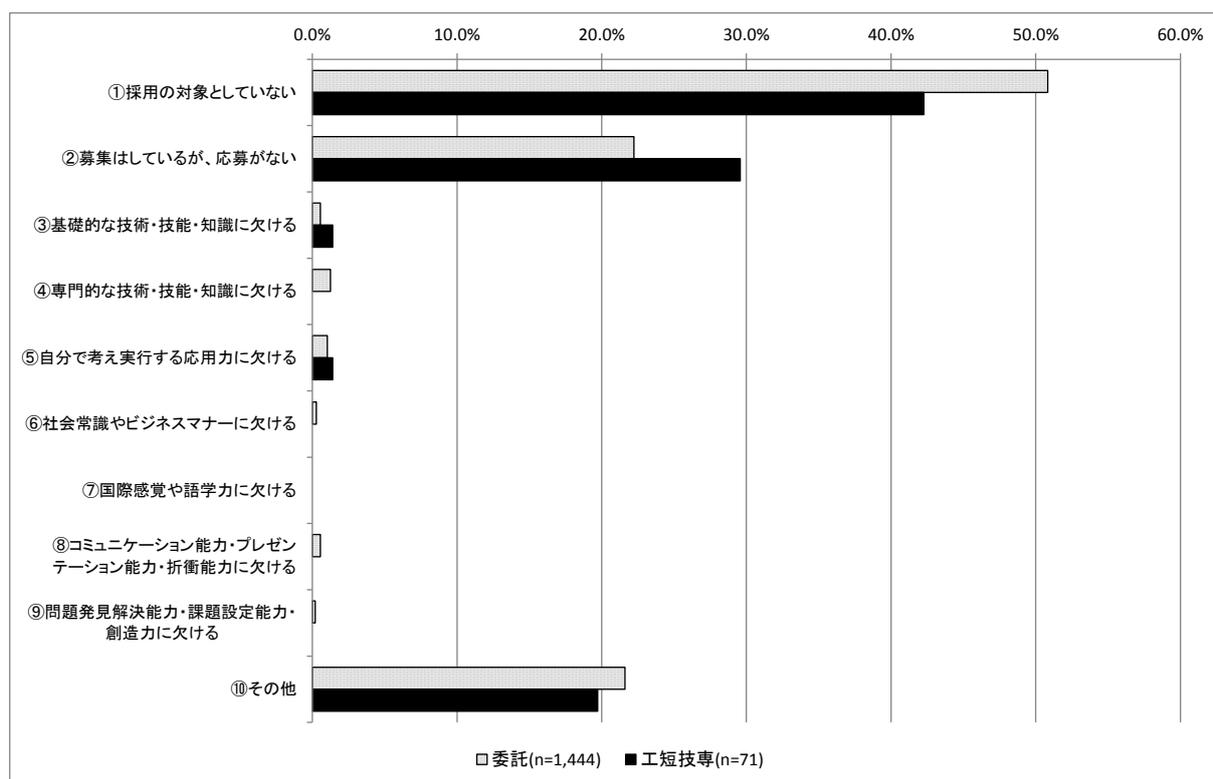


【ヒアリング内容より】

- ・「真面目」であることを挙げた企業が多い。
- ・基礎的な能力に対する評価が高く、そのために「初歩から教育しなくてよい（上小・製造業）」「吸収が早い（佐久・製造業）」などが挙げられている。
- ・一方で「応用になると弱い（上小・製造業）」「（二年制で）時間に余裕がないという意味で、人生経験が少ないように感じる（上小・製造業）」という弱みの指摘もあった。

(5) 「②採用していない」と回答された方にお聞きします。卒業生を採用しない理由は何ですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

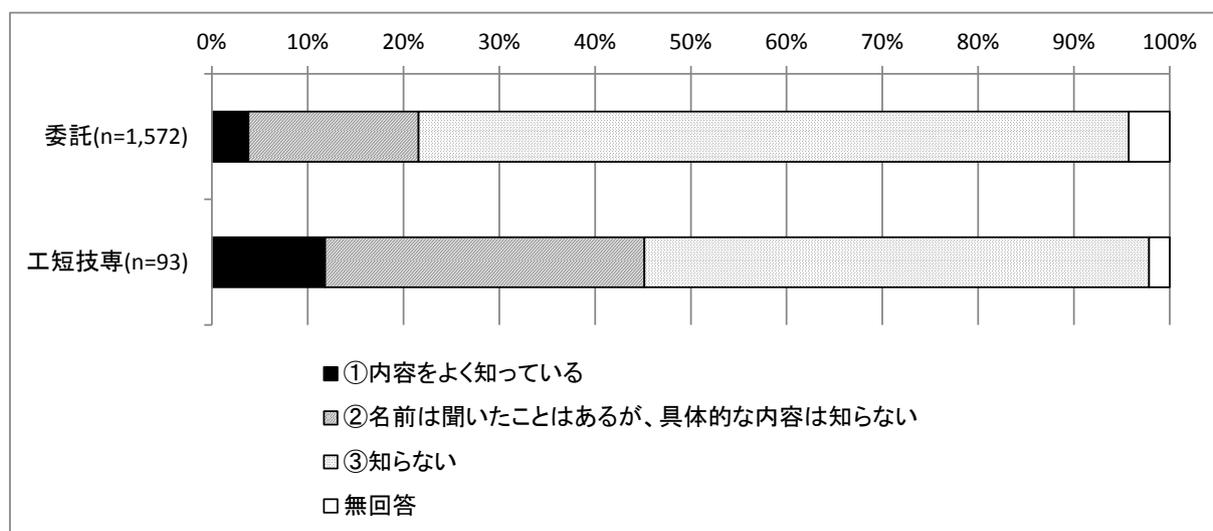
区分		合計	①採用の対象としていない	②募集はしているが、応募がない	③基礎的な技術・技能・知識に欠ける	④専門的な技術・技能・知識に欠ける	⑤自分で考え実行する応用力に欠ける	⑥社会常識やビジネスマナーに欠ける	⑦国際感覚や語学力に欠ける	⑧コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・折衝能力に欠ける	⑨問題発見解決能力・課題設定能力・創造力に欠ける	⑩その他
		委託	回答数 割合	1,444 -	734 50.8%	321 22.2%	8 0.6%	18 1.2%	15 1.0%	4 0.3%	0 0.0%	8 0.6%
工短技専	回答数 割合	71 -	30 42.3%	21 29.6%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 19.7%



問 16 上伊那郡南箕輪村に平成 28 年 4 月開校予定の長野県南信工科短期大学校（以下「南信工科短大」といいます）をご存知ですか。該当する項目 1 つに○印を記入してください。

区分		合計	①内容をよく知っている	②名前は聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない	③知らない	無回答
委託	回答数	1,572	60	279	1,166	67
	割合	-	3.8%	17.7%	74.2%	4.3%
工短技専	回答数	93	11	31	49	2
	割合	-	11.8%	33.3%	52.7%	2.2%

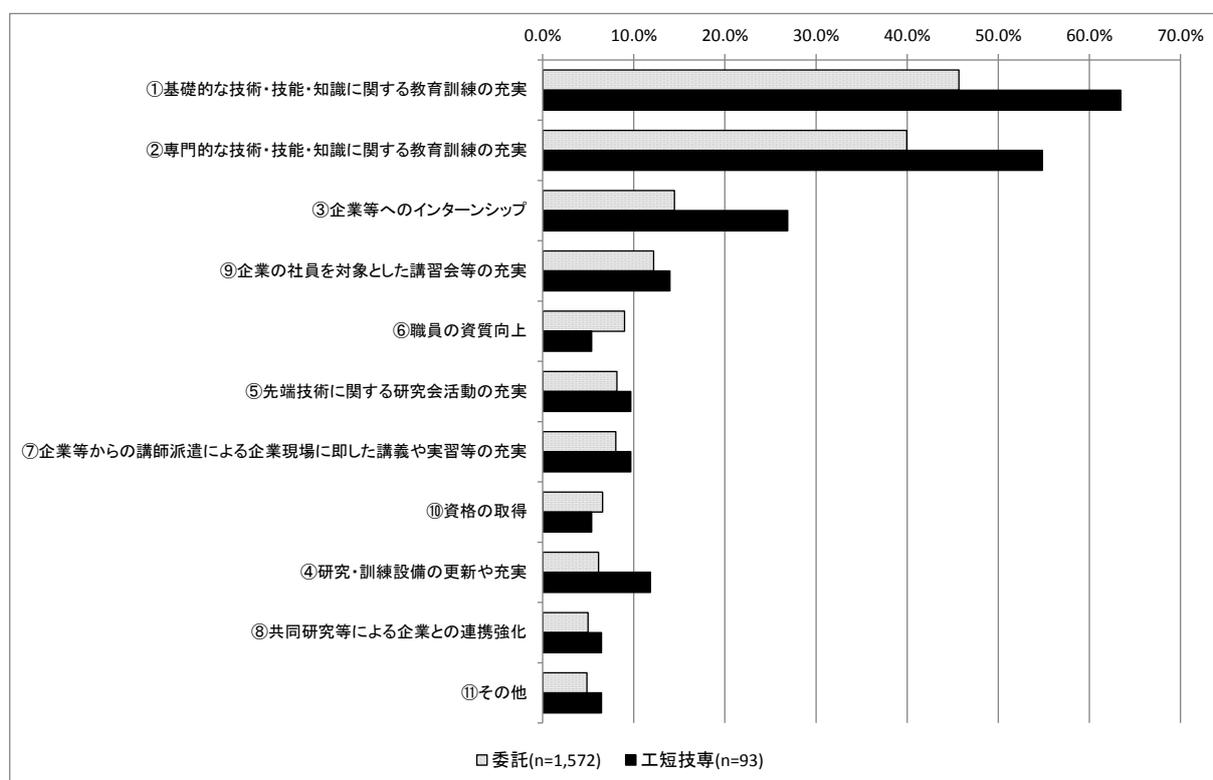
「内容をよく知っている」「名前を聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない」ともに委託調査より大きく増加しているが、それでも半分以上が「知らない」と回答している。



問 17 今後、工科短大及び南信工科短大に積極的に取り組んでほしいことは何ですか。該当する項目を3つまで選び○印を記入してください。

区分		合計	①基礎的な技術・技能・知識に関する教育訓練の充実	②専門的な技術・技能・知識に関する教育訓練の充実	③企業等へのインターンシップ	④研究・訓練設備の更新や充実	⑤先端技術に関する研究会活動の充実	⑥職員の資質向上	⑦企業等からの講師派遣による企業現場に即した講義や実習等の充実	⑧共同研究等による企業との連携強化	⑨企業の社員を対象とした講習会等の充実	⑩資格の取得	⑪その他	無回答
		委託	回答数	1,572	718	628	227	96	128	141	126	78	191	103
	割合	-	45.7%	39.9%	14.4%	6.1%	8.1%	9.0%	8.0%	5.0%	12.2%	6.6%	4.8%	32.5%
工短技専	回答数	93	59	51	25	11	9	5	9	6	13	5	6	
	割合	100.0%	63.4%	54.8%	26.9%	11.8%	9.7%	5.4%	9.7%	6.5%	14.0%	5.4%	6.5%	

上位三項目である「基礎的な技術・技能・知識に関する教育訓練の充実」「専門的な技術・技能・知識に関する教育訓練の充実」「企業等へのインターンシップ」についてはいずれも10ポイント以上高くなっている。



【ヒアリング内容より】

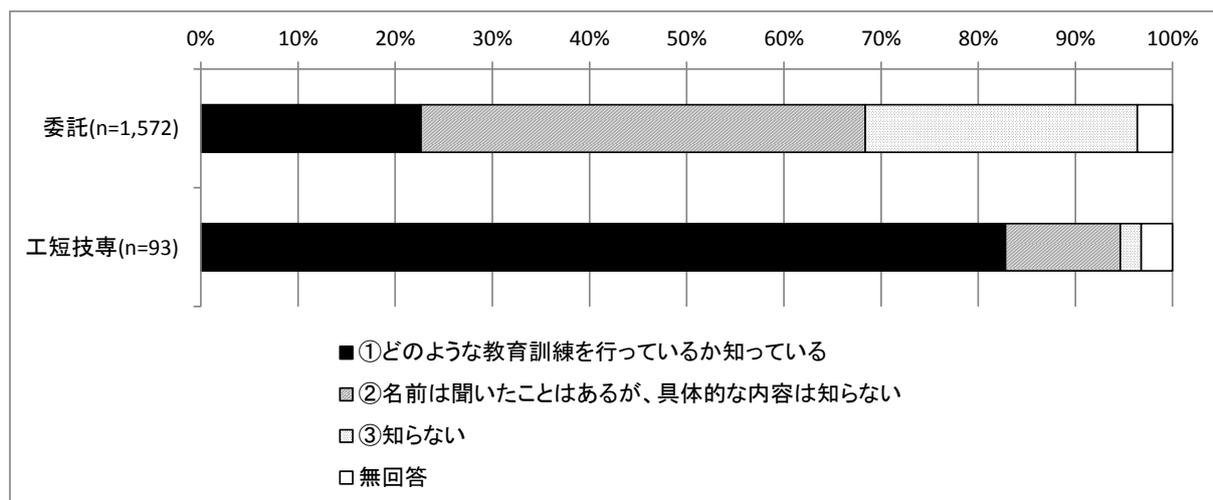
- ・卒業生には将来的に「現場のリーダー」「管理監督者」「プロジェクトリーダー」等になることを期待する声が多数の企業から出ている。
- ・「多能工（上小・製造業）」「幅広い専門知識を持ち分析を行って対策を講じられる（飯伊・製造業）」のように、多様な能力を持ち、「総合的にできる（上小・製造業）」人材になってほしいという意見もあった。
- ・南信工科短大については「官民連携を期待したい（諏訪・製造業）」「地元の企業と交流を深め地元就職するようになってほしい（諏訪・製造業）」等、地域との連携について期待されている。

2 長野県技術専門校について

問 18 長野県技術専門校（以下「技専校」といいます）をご存知ですか。該当する項目1つに○印を記入してください。

区分		合計	①どのような教育訓練を行っているか知っている	②名前は聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない	③知らない	無回答
委託	回答数	1,572	356	719	440	57
	割合	100.0%	22.6%	45.7%	28.0%	3.6%
工短技専	回答数	93	77	11	2	3
	割合	100.0%	82.8%	11.8%	2.2%	3.2%

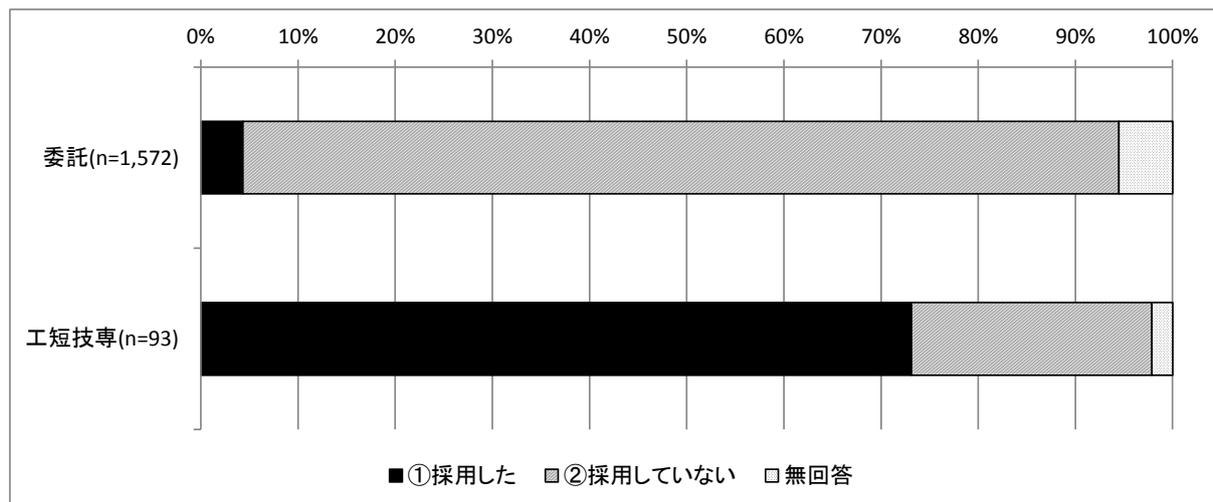
「どのような教育訓練を行っているか知っている」が約8割で最も高く、知名度は高い。



問 19（1）過去3年間で、技専校の修了生を採用したことがありますか。該当する項目1つに○印を記入してください。また、採用したことがある場合には、その人数を記入してください。

区分		合計	①採用した	②採用していない	無回答
委託	回答数	1,572	68	1,417	87
	割合	100.0%	4.3%	90.1%	5.5%
工短技専	回答数	93	68	23	2
	割合	100.0%	73.1%	24.7%	2.2%

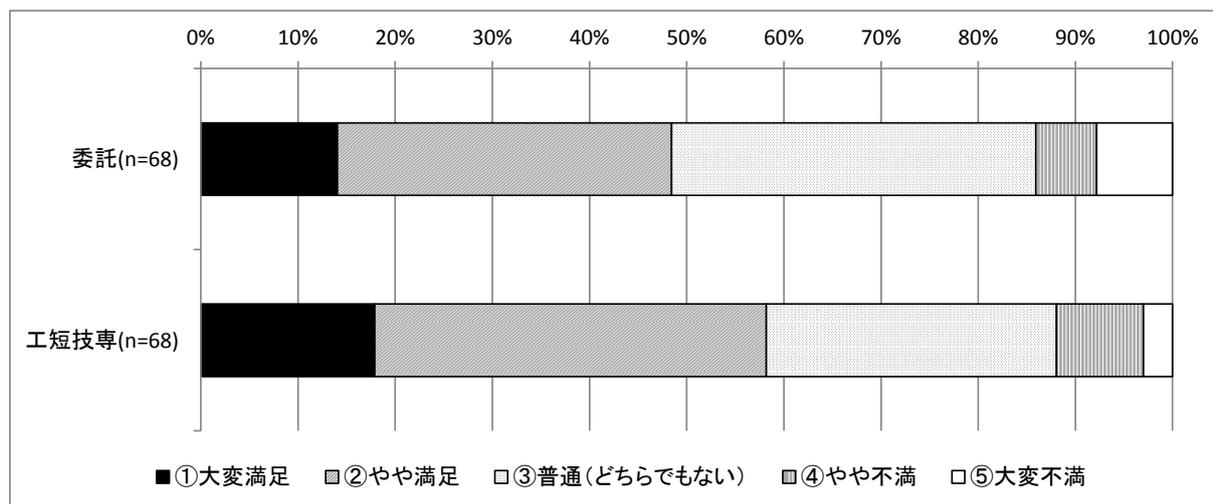
「採用した」という回答は約7割。



(2) 「①採用した」と回答された方にお聞きします。採用した技専校の修了生に対する満足度はどのくらいですか。該当する項目1つに○印を記入してください。

区分		合計	①大変満足	②やや満足	③普通(どちらでもない)	④やや不満	⑤大変不満
委託	回答数	68	9	22	24	4	5
	割合	-	13.2%	32.4%	35.3%	5.9%	7.4%
工短技専	回答数	68	12	27	20	6	2
	割合	-	17.6%	39.7%	29.4%	8.8%	2.9%

委託調査と傾向は同じ。

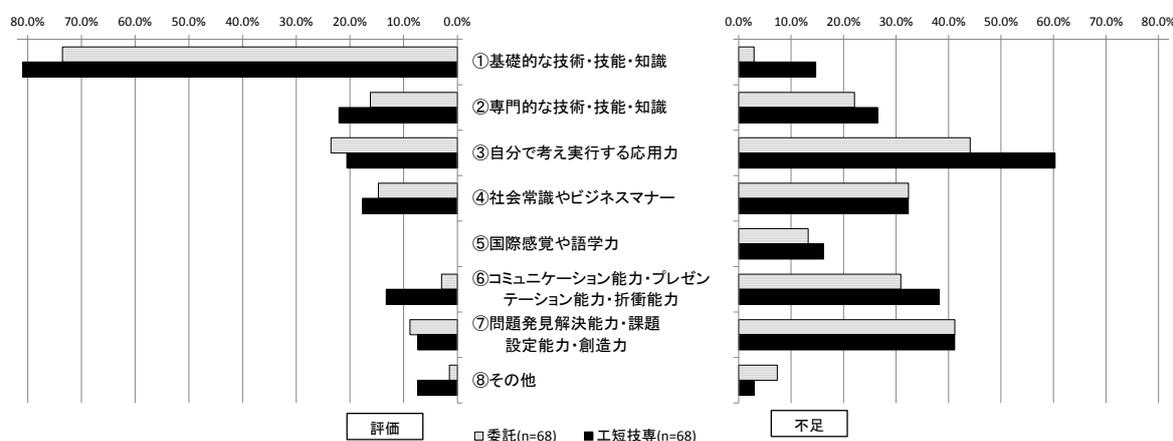


(3) 「①採用した」と回答された方にお聞きします。修了生について評価できることは何ですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

(4) 「①採用した」と回答された方にお聞きします。修了生に不足していると思われることは何ですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

区分		合計	①基礎的な技術・技能・知識	②専門的な技術・技能・知識	③自分で考え実行する応用力	④社会常識やビジネスマナー	⑤国際感覚や語学力	⑥コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・折衝能力	⑦問題発見・解決能力・課題設定能力・創造力	⑧その他	無回答	
評価	委託	回答数	68	50	11	16	10	0	2	6	1	8
	割合	-	73.5%	16.2%	23.5%	14.7%	0.0%	2.9%	8.8%	1.5%	11.8%	
工短技専	回答数	68	55	15	14	12	0	9	5	5		
	割合	-	80.9%	22.1%	20.6%	17.6%	0.0%	13.2%	7.4%	7.4%		
不足	委託	回答数	68	2	15	30	22	9	21	28	5	17
	割合	-	2.9%	22.1%	44.1%	32.4%	13.2%	30.9%	41.2%	7.4%	25.0%	
工短技専	回答数	68	10	18	41	22	11	26	28	2		
	割合	-	14.7%	26.5%	60.3%	32.4%	16.2%	38.2%	41.2%	2.9%		

「基礎的な技術・技能・知識」「自分で考え実行する応用力」が「不足」という回答が10ポイント以上増加している。



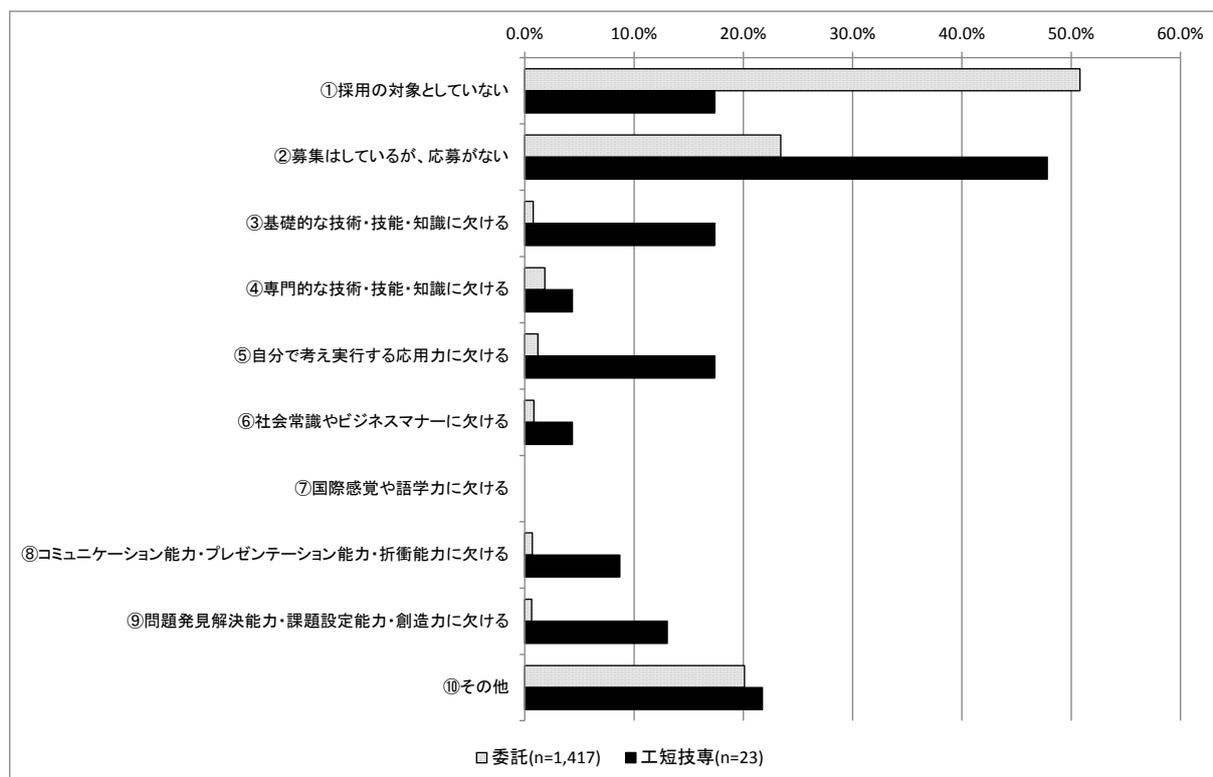
【ヒアリング内容より】

- ・「よく頑張っている」という意見が多い。
- ・「機械操作の基礎を知っているのだから教える必要がない（長野・製造業）」「電気工事士や技能講習など業務に必要な資格を習得している（長野・建設業）」というように、基礎的な内容、資格に対する評価が挙げられた。
- ・一方で、「もっと挨拶やマナーができてると良い（長野・建設業）」「コミュニケーションが苦手な傾向がある（諏訪・自動車整備業）」等の不足点が挙げられている。
- ・ただし、「各人の人間性ということに尽きる（長野・印刷業）」「学歴・経験よりも個人ごとの能力・経験の違いが大きい（佐久・製造業）」というように、校で身につける内容よりも個人の能力という指摘もあった。

(5) 「②採用していない」と回答された方にお聞きします。修了生を採用しない理由は何ですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

		合計	①採用の対象としていない	②募集はしているが、応募がない	③基礎的な技術・技能・知識に欠ける	④専門的な技術・技能・知識に欠ける	⑤自分で考え実行する応用力に欠ける	⑥社会常識やビジネスマナーに欠ける	⑦国際感覚や語学力に欠ける	⑧コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・折衝能力に欠ける	⑨問題発見解決能力・課題設定能力・創造力に欠ける	⑩その他
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
委託	回答数	1,417	720	332	11	26	17	12	0	10	9	285
	割合	-	50.8%	23.4%	0.8%	1.8%	1.2%	0.8%	0.0%	0.7%	0.6%	20.1%
工短技専	回答数	23	4	11	4	1	4	1	0	2	3	5
	割合	-	17.4%	47.8%	17.4%	4.3%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	13.0%	21.7%

回答数は少ないが、委託調査に比べ様々な理由の割合が高い。

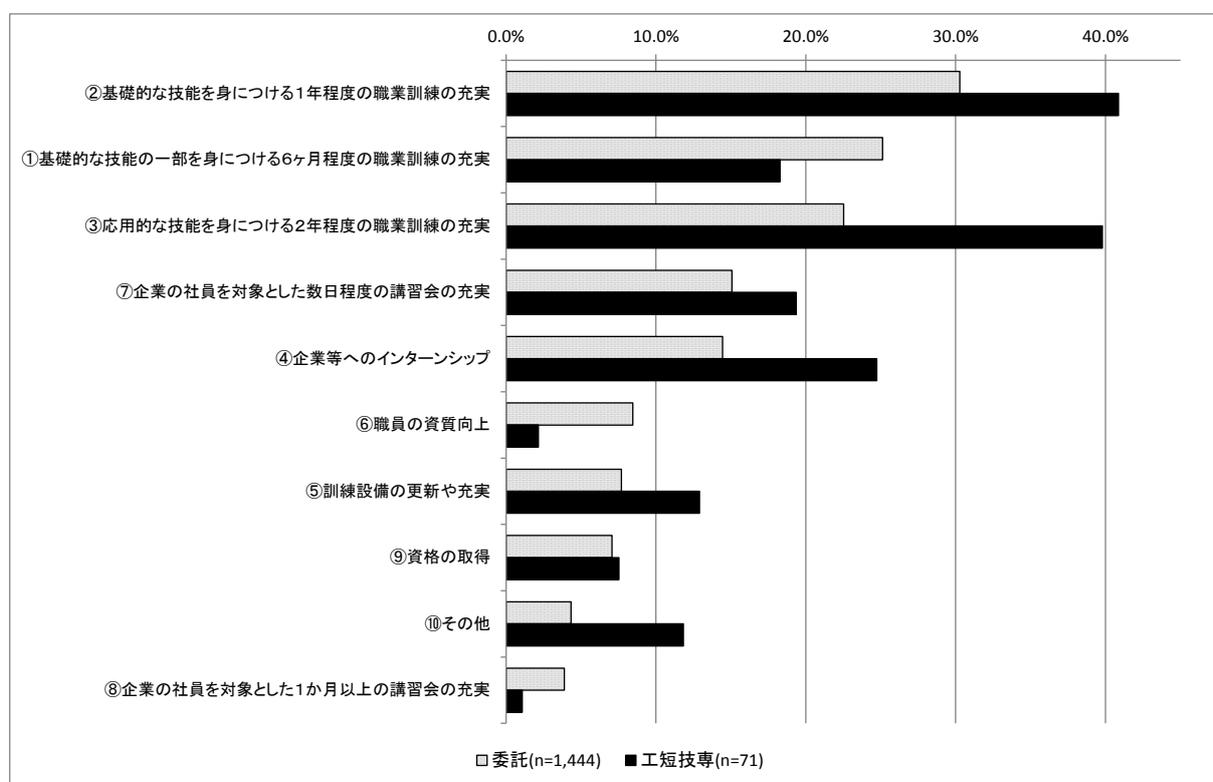


問 20 今後、技専校に積極的に取り組んでほしい課題は何ですか。該当する項目を3つまで選び○印を記入してください。

		合計	①基礎的な技能の一部を身につける6ヶ月程度の職業訓練の充実	②基礎的な技能を身につける1年程度の職業訓練の充実	③応用的な技能を身につける2年程度の職業訓練の充実	④企業等へのインターンシップ	⑤訓練設備の更新や充実	⑥職員の資質向上	⑦企業の社員を対象とした数日程度の講習会の充実	⑧企業の社員を対象とした1か月以上の講習会の充実	⑨資格の取得	⑩その他
委託	回答数	1,572	395	476	354	227	121	133	237	61	111	68
	割合	-	25.1%	30.3%	22.5%	14.4%	7.7%	8.5%	15.1%	3.9%	7.1%	4.3%
工短技専	回答数	93	17	38	37	23	12	2	18	1	7	11
	割合	-	18.3%	40.9%	39.8%	24.7%	12.9%	2.2%	19.4%	1.1%	7.5%	11.8%

委託調査に比べ「基礎的な技能を身につける1年程度の職業訓練の充実」「応用的な技能を身につける2年程度の職業訓練の充実」が約10ポイント増加しているが、「基礎的な技能の一部を身につける6ヶ月程度の職業訓練の充実」の割合は減少している。

「企業等へのインターンシップ」についても約10ポイント増加している。



【ヒアリング内容より】

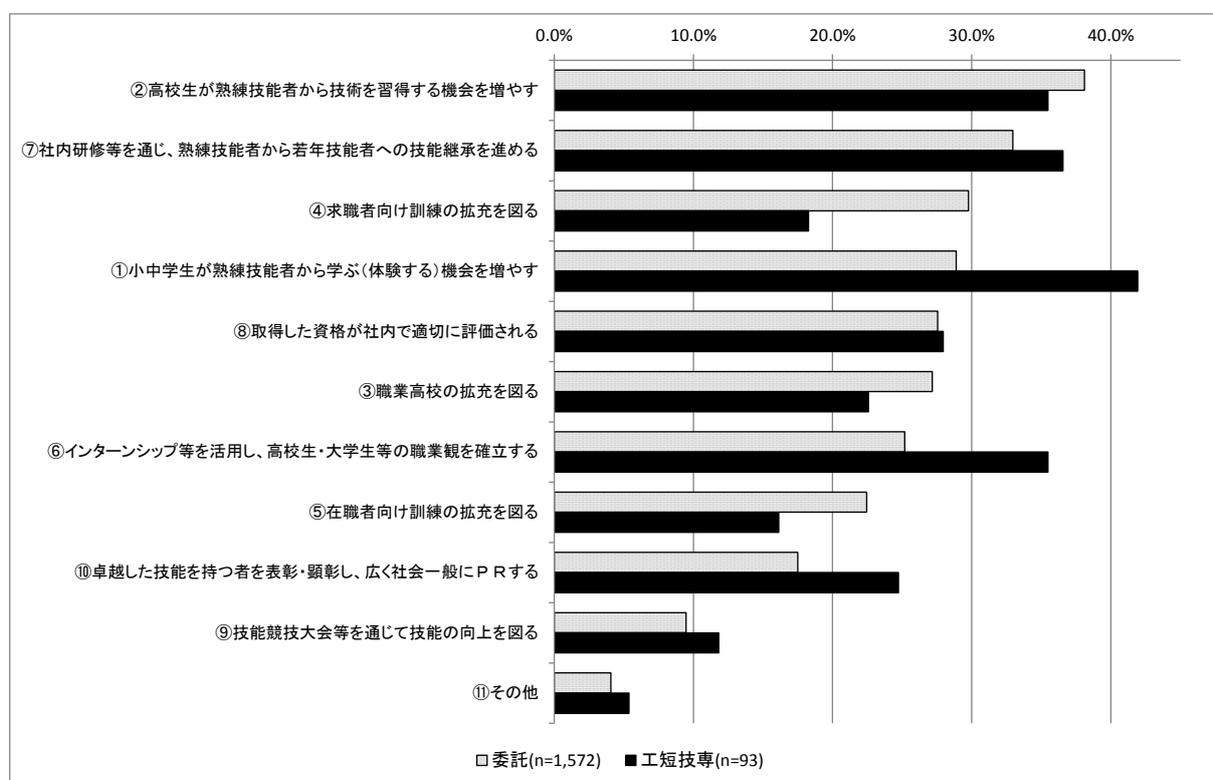
- ・修了生は「現場の作業者」「中堅技能者」「ゆくゆくは現場管理」などの役割を期待されている。
- ・「最初から指導をする必要がない（北信・製造業）」「実習時間を多くとっていると聞いている。そのため、修了生は比較的作業ができる（飯伊・自動車整備業）」等、基礎的な技能を身に着けていることが評価されており、今後も期待されている。
- ・「多能工（松本・建設業）」「マルチ（現場の作業ができ、ある程度設計もできる）（諏訪・製造業）」等の幅広い活躍が期待されている。
- ・「最低限の資質を備えていればどの学校を出ているかは関係ない（長野・印刷業）」など、個人の資質が一番との意見もあった。
- ・「長く勤めて地元企業のために頑張ってもらいたい（木曾・製造業）」「長く勤めてほしい（飯伊・建設業）」など、地元への定着を期待している意見もあった。

問 26 (3) 技能が尊重される社会を実現するため、今後どのような取組が必要だとお考えですか。該当する項目すべてに○印を記入してください。

区分		合計	①小中学生が熟練技能者から学ぶ(体験する)機会を増やす	②高校生が熟練技能者から技術を習得する機会を増やす	③職業高校の拡充を図る	④求職者向け訓練の拡充を図る	⑤在職者向け訓練の拡充を図る	⑥インターンシップ等を活用し、高校生・大学生等の職業観を確立する	⑦社内研修等を通じ、熟練技能者から若年技能者への技能継承を進める	⑧取得した資格が社内で適切に評価される	⑨技能競技大会等を通じて技能の向上を図る	⑩卓越した技能を持つ者を表彰・顕彰し、広く社会一般にPRする	⑪その他
		委託	回答数 割合	1,572 -	454 28.9%	599 38.1%	427 27.2%	468 29.8%	353 22.5%	396 25.2%	518 33.0%	433 27.5%	149 9.5%
工短技専	回答数 割合	93 -	39 41.9%	33 35.5%	21 22.6%	17 18.3%	15 16.1%	33 35.5%	34 36.6%	26 28.0%	11 11.8%	23 24.7%	5 5.4%

委託調査に比べ「①小中学生が熟練技能者から学ぶ(体験する)機会を増やす」「⑥インターンシップ等を活用し、高校生・大学生等の職業観を確立する」が約 10 ポイント増加している。

「④求職者向け訓練の拡充を図る」は約 10 ポイント、「⑤在職者向け訓練の拡充を図る」は約 6 ポイント減少している。



【ヒアリング内容より】

- ・実際に小中学生、高校生の体験講座、インターンシップ、企業見学などを受け入れていると答えた企業は 20 社程度。「対応できるマンパワーがない(上小・製造業)」「見学は可能できるが、体験については危険を伴う職種なので難しい(諏訪・製造業)」などの受け入れの難しさを挙げる企業もあった。
- ・「マイスター制度について広く周知されていないため残念(松本・建設業)」「技術を上、技能を下に見る風潮を感じる(上小・製造業)」等、技能者の認識や地位の向上を求める意見もあった。
- ・「Uターン学生を増やしたい(上小・製造業)」「県内にとどまる学生への手厚い支援や採用の特別枠が必要かと思う(佐久・製造業)」のように、若者の地元定着に手を尽くした方が良いという意見があった。
- ・技術専門校の訓練制度については「人材育成を担う機関として、重要だが2年も必要はない(松本・建設業)」「在職者対象の1ヶ月程度の訓練をやれば、従業員を出す企業が結構あるのではないかと? (諏訪・製造業)」「県で実施しているスキルアップ講座は勉強になったが、内容が基本過ぎる。一つの内容で初級コース、中級コース、上級コースなどが設定されるとありがたい。(上伊那・製造業)」など様々であった。

V その他

問 27 人材育成について、日頃感じていることや長野県に対するご要望等がございましたら、以下に記載してください。

区分	合計	人材育成 に対する 支援策	若者の仕 事に対す る意識	人材育成 が進まな い理由	制度のPR	技術・技 能者の社 会的評価	求めてい る能力、 人材像	教育に対 する要望	仕事・業 界の魅力 発信	その他	
委託	回答数	258	55	39	36	25	16	14	14	10	49
	割合	-	21.3%	15.1%	14.0%	9.7%	6.2%	5.4%	5.4%	3.9%	19.0%
工短技専	回答数	22	3	1	1	2	6	0	2	2	5
	割合	-	13.6%	4.5%	4.5%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	9.1%	22.7%

委託調査と比較し、「技術・技能者の社会的評価」への意見が多い

主なものは下記のとおりとなっている

《人材育成に対する支援策》

- ・中小企業は人材育成のマニュアルがないため技術だけではなく、働く意味、目的、達成の仕方、計画の立て方等社会人としての基礎を学ぶ場を各市町村で年1, 2回実施してほしい。定年退職者を技術レベルUPのために各企業で安価に教えていただける制度の確立。

《制度のPR》

- ・長野県で良い取組みをしてもまったく一般には知られていないのが現状。広報にお金と時間をかけて欲しい。有益な事に税金を使って欲しい。

《技術・技能者の社会的評価》

- ・職人技能が重宝されもっと安定した収入があり世の中の人々、若者が魅力ある職業と認められる社会を創って欲しい。
- ・若い方が、自分の手に職を持ち、夢とできるような環境作りが次の担い手を作り出す第一歩だと考えております。

《教育に対する要望》

- ・長野県内に技術専門学校が何校かありますが、木工関係が上松校のみとなってしまいました。全国的にも上松だけだとききました。(中略)。木工希望者は多いと聞きます。木工関係を復活させて拡充を図ってもらいたいと思います。間口がせまいと入ってくる人が少なく人材は増えません。

《仕事・業界の魅力発信》

- ・技術職に就く学生(若い人)が少なくなっている。また、技術職を目指しているが、目指している学生と企業の接点が少ない。

《その他》

- ・若年層の長野県への移住。
- ・国、地方自治体、業界、企業が一体となって労働(就労)環境の改善(休日出勤、時間外労働)、適切な賃金確保に取り組まなければならない喫緊の課題と考えます。

【ヒアリング内容より】

- ・産業労働部だけの話でなく、知事部局、教育委員会、市町村のカテゴリにとらわれずに若者を地元を引き止める策を講じないと、地域社会の維持ができなくなってしまう。(佐久・製造業)
- ・短期的な助成金制度でなく、長期的に職人を育てるような助成をしてほしい。小さい工務店はいらないという制度はやめてほしい。大手ばかりが利を得ている。(長野・建設業)